

## 地域の連携で進める、持続可能なカーボンニュートラル推進のかたち

広島県では、県内企業がカーボンニュートラル（CN）の取組を着実に進められるよう多様な支援を展開しています。CNの取組は、運用改善などの基礎的な施策は進めやすい一方で、設備ごとの専門的な対応や投資を伴う施策では手が止まってしまうケースも少なくありません。自社に適した打ち手が見えにくいことや、必要な情報・専門知見にアクセスしづらいことが背景にあります。こうした課題に対応するためには、相談できる窓口や適切な支援へ橋渡しできる仕組みが欠かせません。

そこで、広島県では以下の図に示すような支援体制の構築を目指しています。CNに取り組む県内企業が地域の支援機関へ気軽に相談でき、悩みや状況に応じて必要な支援を受けられる体制です。そのためには、支援機関が企業の課題や取組状況を把握しながら助言できることに加え、ソリューション事業者と連携し、具体的な施策の検討から実行まで支援できる体制が重要だと考えています。あわせて、各種ガイドラインや取組事例、補助金情報などを掲載する情報ポータルサイトを構築し、企業が主体的に情報を得られる環境整備も目指します。

今年度は、この目指す姿の実現に向けた活動の一環として、複数のワークショップを実施しました。施策立案ワークショップでは、地域の複数の支援機関から県内企業へ情報提供を行うとともに、支援機関が県内企業をサポートしていくための体制や関係性づくりを意識した場としました。また、マッチングワークショップでは、県内企業とソリューション事業者、支援機関が直接対話できる機会を設け、CN施策の実行を後押ししました。加えて、情報ポータルサイトの掲載コンテンツも順次拡充しています。

CNへの取組は、一度きりで完結するものではなく、継続的に改善を重ねながら進めていくものです。支援機関やソリューション事業者など地域が連携し、県内企業が相談しながら取組を継続できる環境を整えることで、持続可能なCN推進につなげていきます。

